平成29年度まち歩きツアー開催のお知らせ

地元の方、大歓迎

まちを歩いて黒石の素晴らしさを再発見しよう！ 松の湯交流館はまち歩きの拠点です。

地図を片手に時代をさかのぼる

江戸陣屋巡りツアー〈ちょい食べグルメ付き〉

江戸時代の風情を感じさせる町としては津軽随一の小さな城下町「黒石」。武家屋敷や水飲み場、徳川家康ゆかりの神社など、城下町の痕跡が今も数多く残るまちなかを、古地図（想像図）を片手に津軽黒石藩の歴史と文化を散策します。

〔日時〕4/29（土・祝）、6/25（日）、9/17（日）10:00〜12:00
〔料金〕2,000円 小学生以下1,500円

江戸時代から続く商家や老舗店を訪ねて

中町浜街道商家巡り〈ちょい食べグルメ付き〉

南北に延びる中町こみせ通りは、重要伝統的建造物群保存地区（重伝建）に指定された江戸時代の風情を残す趣のある通りで、北は青森から新鮮な魚貝が運ばれ、古くから浜街道として栄えてきました。街道沿で今も続く商家や老舗店を訪ね、なりわいの歴史や文化に触れます。

〔日時〕4/30（日）、9/23（土・祝）、10/15（日）、11/3（金・祝）10:00〜12:00
〔料金〕2,000円 小学生以下1,500円

藩御用達の庭師が広めた

大石武学流庭園ツアー〈ちょい食べグルメ付き〉

江戸後期から明治・大正にかけて津軽地方に広まり、黒石のまちなかに今も数多く残る“大石武学流庭園”を巡ります。なにげなく配置された石や木々などのウンチクを交えてご案内しますので、庭園に詳しくない方でも楽しく散策できます。

〔日時〕5/4（木・祝）、7/29（土）、10/29（日）10:00〜12:00
〔料金〕2,400円 小学生以下1,800円

こみせ通りのなりわいを巡る

まちなか探訪ツアー〈ちょい食べグルメ・昼食付き〉

黒石市が認定した「小さなまちかど博物館」を中心に、こみせ通りにある昔ながらの商家や酒蔵、職人の技に触れ、黒石の歴史と文化を感じることができるツアー。日頃生活している生の声で、お店の成り立ちやなりわいのお話を聞きながら、情緒あふれる城下町を楽しく散策します。

〔日時〕6/10（土）10:30〜14:30
〔料金〕3,300円 小学生以下2,500円

※上記以外にも5名以上の申し込みで、日時・内容など個別に対応いたします。
申し込み・お問い合わせは松の湯交流館、または横町十文字まちそだて会ホームページで。

詳しくはこちらでチェック！ **http://kuroishi-machisodate.com**

松の湯交流館

●開館時間／9:30〜18:00　●休館日／夏期無休（4〜11月）、冬期毎週月曜日（12〜3月、ただし月曜が祝日・振替休日の場合はその翌日）、年末年始
tel.0172-55-6782　fax.0172-55-6783
●十文字カフェ営業時間／11:00〜16:00　●十文字カフェ定休日／毎週月曜日
〒036-0377 青森県黒石市大字中町33

まちなかShop情報

気にナル

クラフトしみず

黒石市横町に、伝統工芸の津軽塗や手しごと作品を展示、販売している「クラフトしみず」が昨年オープンしました。明治元年、築150年以上前に建てられた蔵をリフォーム、漆喰で仕上げた大きな蔵です。店内は、100点近い津軽塗や工芸品が並べられ、朱傘が和のイメージを引き立てています。オーナーの小友美保子さんは、以前市内でスナック「やすらぎ」を経営していましたが、地元に特化したお店をやりたいと前から思っていたそうです。隣には喫茶コーナーもあって、蔵で飲む昆布茶は格別です。また店の奥に夜はスナック、日中はカラオケを楽しむことができる「蔵'sやすらぎ」、さらにシュミレーションゴルフが楽しめる「蔵'sゴルフ」も人気です。

和のイメージを感じさせる店内。

明治元年に建てられた蔵をリフォームした、趣のある外観です。

【クラフトしみず】
営業時間／11:00〜18:00　TEL／0172-88-7677
定休日／第1・3月曜日（変動あり）　住所／黒石市横町24-3（Kボッコ向かい）
【蔵'sゴルフ】営業時間／10:00〜22:00
【蔵'sやすらぎ】営業時間／17:00〜23:00　カラオケ 11:00〜16:00・喫茶コーナー 11:00〜

まちなかShop情報

気にナル

お食事処「たんぽぽ」

『安く楽しく仲間づくり』のお店、お食事処「たんぽぽ」が昨年12月黒石市一番町にオープンしました。カウンターが4席、小上がりには4人掛けテーブルが2つとこじんまりと落ち着いた店内です。店主の佐藤孝男さんは以前市内の観光施設に勤務、街なかに自分のお店を開きたいと思っていたそうです。お店の売りは多彩なメニュー。ご飯類、麺類などなんと30種類以上。佐藤店主は物作りが大好きで、お店の棚や一畳分ほどの大きさもある電流イライラ棒も自作したのだとか。遊び心がいっぱいで話上手、とても気さくな人柄です。「高校生以下または高校生以下同席で全員3割引き、来て得をするお店なんです」とPR。宴会は3,000円から受け付けています。

誰もが立ち止まって見てくれるようにと黄色のランプでPRしています。

安くてボリューム満点。写真はしょうが焼き定食とカツプレート。

【たんぽぽ】
営業時間／11:00〜21:00
TEL／090-2970-7342　定休日／不定期
住所／黒石市一番町66 一番ビル1F

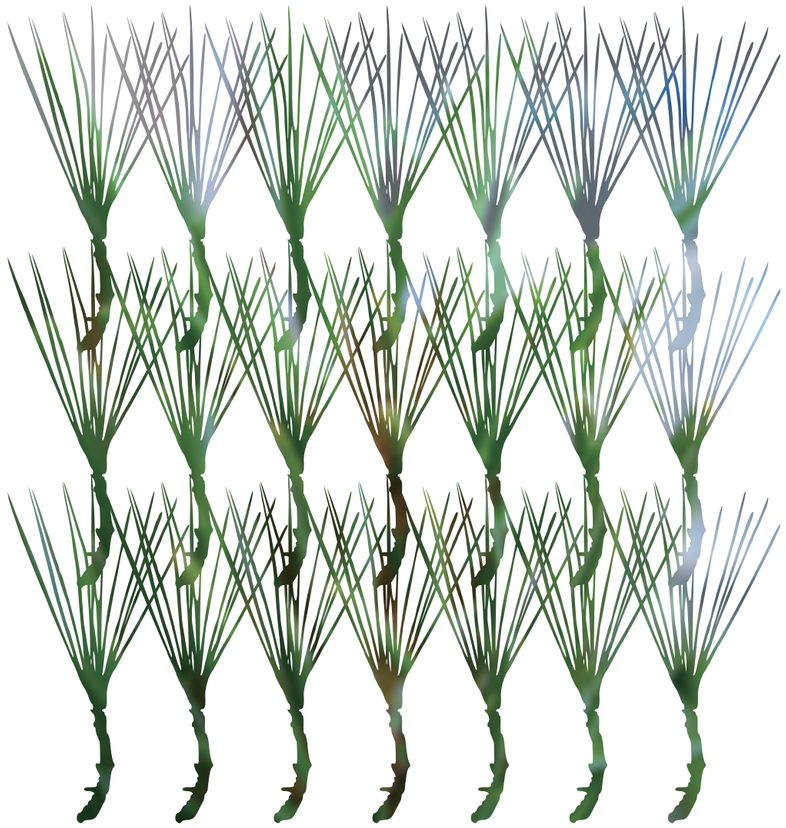
松の湯レター Vol.12

発 行 日：2017年3月15日
発　　行：黒石市
企画・制作：NPO法人横町十文字まちそだて会

2014年7月から始まった松の湯レターも最終号を迎えました。松の湯交流館や地域の情報を取材し、ご紹介してきました。ご協力して下さった方々、関係者の方々、読んでいただいた全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。（H）

松の湯レター vol.12

松の湯交流館



人々が集い、ふれあう 松の湯交流館

特集 / 写真で振り返る「松の湯交流館」集いの記録

松の木便り

松の湯交流館では、自主企画のほかにグループ・団体の活動や発表などで、常時さまざまな催しを開催しています。今まで催されたワクワクなイベントを、松の湯レターでご紹介します。

こぎん刺し体験

普段からこぎん刺しのワークショップなどを開催されている工藤康子さんを講師にお招きし、こぎん刺し体験を開催しました。参加者の皆さんは工藤さんの懇切丁寧な指導のもと、図案にならい、栞（しおり）づくりに挑戦していました。皆さん夢中で針を刺し進め、作品を仕上げたとき感動したという方もいらっしゃいました。

- 開催日：1/21
- 主催：松の湯交流館

津軽塗体験

津軽塗工房「まるー」を経営し、県の「あおもりキャリア教育応援企業表彰」を受賞している工藤広一さんを講師にお招きし、津軽塗の小物制作体験を開催しました。参加者は、工藤さんと一緒に和気あいあいと津軽唐塗のスプーンやブローチを作り、とても満足している様子でした。

- 開催日：1/29
- 主催：松の湯交流館

英会話教室

こども英語クラブを各地で開催している安田美代さんを講師にお招きし、幼児対象の英会話教室を開催しました。英語の童謡にあわせて唄ったり踊ったり、楽しみながら英語を学んでいました。親子一緒に楽しめる素敵な体験だったなどの感想をいただき、大好評の教室となりました。

- 開催日：3/5
- 主催：松の湯交流館

キッズスペース

市民サロンを大きく使い、お子様が楽しく遊べるキッズスペースとして開放しました。飛び跳ねても安全なマットの上に、クッション製の積み木や滑り台、輪投げなど様々な遊具でみんな楽しそうに遊んでいました。
3/19（日）にも開催いたしますので、是非お子様を連れて松の湯交流館にご来館ください。お待ちしています。

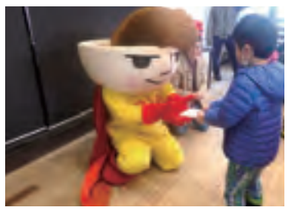
- 開催日：2/4・2/26・3/4
- 主催：松の湯交流館

ひなまつりオーナメントをつくろう

ひな祭りに向け、紙粘土でオーナメントを作るイベントを実施しました。参加者の皆さんは見本を見ながら可愛らしくアレンジして、オリジナルのおひな様やお内裏様をつくっていました。完成した作品をお借りし、松の湯交流館内に春の訪れを感じさせる個性的なひな飾りができあがりました。

- 開催日：2/25 〜 3/8
- 主催：松の湯交流館

あおもり39レタープロジェクト



「39レター」とは、家族やお友だち、大切な人に普段言えない「ありがとう」の気持ちを3月9日に手紙で伝えようというイベントです。アリス保育園や東雲幼稚園、中郷保育園の園児たちが、日頃の感謝の気持ちを綴った39レターを、黒石市のゆるキャラ「つゆヤキソバン」に託しました。

- 開催日：3/1
- 主催：あおもり39レタープロジェクト

台湾・まちづくりリーダーと黒石市民との交流会

台湾の僑光科技（きょうこうかぎ）大学が青森のまちづくりを勉強するために黒石を訪れ、松の湯交流館でまちづくりに係わる交流会が行われました。黒石市・台湾とのまちづくりに関する意見交換が行われ、国境を越えたまちづくりに関する知識・意見には、新しい発見が多くあったようで、互いにとても有意義な時間を過ごしたようでした。

- 開催日：2/5
- 主催：黒石市商工観光課

歴史講座

黒石市教育委員会による歴史講座が開催されました。「中町こみせ通りの歴史と文化」や「金平成園（澤成園）と黒石市内に所在する大石武学流庭園」など、黒石の歴史や文化について学び、受講者は知見を広めることができた、面白い話が聞けた、と非常に満足していました。

- 開催日：2/1・2/15・3/1
- 主催：黒石市教育委員会文化スポーツ課

松の湯交流館のホームページが開設します！ ※4月初旬公開予定

松の湯交流館のイベント情報や利用状況の他、黒石の観光情報を紹介するページとなります。4月初旬に公開予定です。

ホームページアドレス **http://www.kuroishi-matsunoyu.jp**

松の湯コラム ❼
MATSUNOYU COLUMN

毎回さまざまな方々の寄稿をご紹介する松の湯コラム。第7回は昨年、黒石の歴史を学ぶ総合学習の一環としてまち歩きツアーに参加した黒石小学校教諭の佐々木りえ子先生です。

まち歩きツアーを体験して

黒石小学校教諭
佐々木りえ子

偶然目にした新聞記事。こみせのまち歩きツアーガイドを育成しているというものでした。私は、通算で13年黒石市に勤務しているのに、こみせの歴史や、建物の文化財としての価値について、何も知識がありませんでした。子どもたちも、黒石市に生まれ、育ってきたのに、パンフレットでしか知らないという現状でした。

横町十文字まちそだて会の方に提案いただいたコースを、ガイドをしていただきながら回りました。こみせ通りが果たしてきた役割、現在も大切に手入れし、建物を守っている方々のこと、ずっと守り続けている味、現役で今も使われている日本一古いポンプ車など、パンフレットでは分からない、人々の思いを感じました。さらに、古い物の中に、交流館やカフェなどの新しいものを取り入れ、うまくとけ合っていることが、とても魅力的でした。子どもたちは、目を輝かせて見学していました。感想には、「受け継がれてきたものを、ぼくたちも大切にしていきたい。」とありました。

何百年の時を超えて繋いできたものを、これからも繋いでいくためには、よく知り、好きだと思える場所にすることが大切です。『百聞は一見に如かず、百見は一行（行動）に如かず。』今度はイベントに参加したり、カフェでくつろいだりして、もっと松の湯交流館やこみせを楽しみたいと思います。

松の湯交流館 EVENT PHOTO GALLERY

写真で振り返る「松の湯交流館」集いの記録

平成28年度も人々が集う場としてさまざまなイベントが開催されました。その様子を写真で振り返ります。

松の湯落語（横町十文字まちそだて会主催）

ワンワン触れ合い大作戦（黒石商業高校主催）

楽しさ発見塾 忍者修行（黒石市社会福祉協議会主催）

手作り雑貨展（FUKUTOPO主催）

ねぶた絵体験（横町十文字まちそだて会主催）

火災防ぎょ訓練（第63回文化財防火デー）

フラワーアレンジメント教室（松の湯交流館主催）

こどもガイドツアー（幸成児童館主催）

こけス体験（松の湯交流館主催）

冬のイルミネーション（松の湯交流館主催）

さまざまなイベントを企画しています。
詳細はホームページにて随時配信します。
どうぞお気軽にご参加ください。

ホームページアドレス　※4月初旬公開予定
http://www.kuroishi-matsunoyu.jp

平成29年4月1日から、松の湯交流館は指定管理者制度により、NPO法人横町十文字まちそだて会（以下、まちそだて会）による管理運営となります。

【今までと何が違うの？】

民間の技術力や経営ノウハウを活用し、利用者への幅広いサービス向上を図ります。

【まちそだて会が思う松の湯とは？】

松の湯はもとは銭湯でした。昔の銭湯は、裸の付き合いならぬ井戸端会議でお風呂上りにはコーヒー牛乳を飲み、館内には上映予定の映画のポスターが掲示してあったり、情報発信の場所でもあったのです。また、子どもからお年寄りまで世代を超えた触れ合いがありました。松の湯は、日常的に人々が集う『あずましい場所』でした。

【まちそだて会が目指す松の湯交流館とは】

特定非営利活動法人として活動しているまちそだて会は、黒石をこよなく愛する市民で結成された団体です。横町十文字エリアを「第3の場所（非日常の空間）」として位置づけ、「歩いて回れるくつろげる街」を目指して活動しています。

まちそだて会が目指す松の湯交流館とは、
①「コミュニティの拠点」として皆が交流できる場所
②「観光・まち歩きの拠点」として市の魅力を発信
③「まちなかに賑わいと活力をもたらす拠点」としてイベントの展開
↓　↓　↓
新しい『あずましい場所』の創造を目指します。

【まちそだて会が考える6つの取り組み】

①たくさんの方々が貸館として利用できる環境づくり
②「十文字カフェ」と連携した食と手仕事のプロモーション
③地域の人（土の人）と観光に訪れた人（風の人）が一体となる参加型のまつりの情報発信
④「観光・まち歩きの拠点」として市の魅力を発信
⑤若者が黒石市を誇りに思えるような事業展開
⑥旧銭湯という建物を活かし、趣のあるイベントの開催
↓　↓　↓
地域の人達、観光に訪れた人達が気軽に交流できる空間の提供

これからも「観光の拠点」として、また「人々が集い交流する場」として賑わいの創出を目指します。

黒石市小さなまちかど博物館 レポート

黒石市「小さなまちかど博物館」の紹介レポート　今回は、上町の山田肥料店「明治土蔵館」、津軽黒石こみせ駅「小見泉こみせ駅」、こみせ通りにある西谷家住宅「こみせ美術館」です。

昭和が漂う店内はホッとくつろげる空間となっています。

重厚な観音扉の向こうには、当時の生活がうかがえる民具が置いてあります。

明治38年に建てられた土蔵。蔵の2階には長持ちや桐の箪笥（たんす）など歴史ある貴重な物がたくさんあります。

明治土蔵館

明治時代の蔵で肥料屋さんを営んでいる山田肥料店は、築112年の歴史ある建物です。お店に入るとタイムスリップしたように年代物の金庫や戸棚などが置いてあり、薪ストーブが暖かく迎えてくれました。昭和14年に荒物屋、肥料屋として商売を始めたそうです。「ここへ嫁いで50年、ずっと真面目に働いてきたことが私の支えです。」と昔を思い出しながら語る2代目の山田智子館長。お店には、お客さんや近所の人達が手作りの料理を持参して集い合っています。「寂しくなるからお店を閉めないでね！」といつも言われるので、身体が続く限り頑張るそうです。

お店の裏には文庫蔵があって、代々使われていた蚊帳、木製の樽などの民具が歴史を感じさせます。また津軽では珍しい観音扉は、幾重もの掛け子の重ねによって、内と外を密封するように工夫されています。ここは、当時の生活を知ることができる貴重な建物の一つです。山田館長は「長い間蔵と一緒に過ごしてきたので、お店にいるとホッとします。」と柱をなでながら話してくれました。

明治土蔵館
建物及び景観 | 館長・山田智子 | 山田肥料店 |
開館時間／8:00～17:00　閉館日／日曜、祭日
黒石市上町23-1　TEL／0172-52-2863

こみせ駅裏手にある井戸「小見泉」はミネラルが豊富でおいしいと好評。ジョウゴを持参し10年以上通っている人も…。

地元の特産品や民芸品を販売しているお土産屋さんです。また、津軽三味線の生演奏が聴ける人気のあるスポットです。

「津軽黒石こみせ駅」は、地元の有志達が「こみせ」を後世に残そうとこみせ保存に乗り出し誕生した建物です。

小見泉こみせ駅

「津軽黒石こみせ駅」は、黒石市や県内の特産品、人気のお菓子などを販売しており、定期的に三味線の生演奏も行われているお店です。お店の裏にある「じょんから広場」には八甲田山で育まれた美味しい伏流水「小見泉」が湧き出て、ペットボトルを持参した人達で賑わっています。お水のそばには、コップやジョウゴなどが置いてあり、市民の人達が好意で提供しているのだそうです。また、小見泉の奥には土蔵の「音蔵こみせん」があり、コンサートや宴会などのイベント会場として活用されています。

小さい頃からこみせ通りを見てきた船水館長は「前町から歩くこみせ通りが好きですね。こみせとの出会いを楽しくさせてくれます。自分の成長と共に過ごしてきたこみせ通りを引き継ぎ、紡いで行く事が私の思いです。日々力まず、できることからやっていく。こみせに関わった人達を大切に、一つ一つの積み重ねていく事が大切だと思っています。」船水館長は誰よりもこみせ愛で溢れていました。

小見泉こみせ駅
なりわい | 館長・船水正嗣 | 津軽黒石こみせ駅 |
開館時間／9:00～17:00　閉館日／1月1日
黒石市中町5　TEL／0172-52-7271

古いこけしやねぶた絵、民具などの他、代々使われてきた年代物の食器や調度品などを展示しています。

玩具を可愛くディスプレイ。

移築した際に記された筆文字が今も残されています。

仏間に飾られたおひな様、桃の節句を祝いました。

こみせ美術館

松の湯交流館の道路を挟んだ角に建つ西谷家住宅は、大正2年に弘前にある造り酒屋の建物を譲り受け、現在の地に建てられました。「小さい頃にいつも遊びにきていたので本当に親しみのあるお家です。」と笑顔で話す西谷せつ館長。呉服屋を営んでいたという店内には、畳の小上がりがあり当時の雰囲気をそのまま残しています。現在は、昔のこけしやねぶた絵を飾っており、道路から見えるショーウインドーには趣味で集めた陶器が展示され、通る人の目を留めています。

また、こみせ通り側にある板塀は今のシャッターの役目をしており、上へ1枚ずつ押し上げて店を開けていました。「ここでしか見られない、珍しいものや懐かしいものがたくさんあるので、ずっと大切にしていきたいですね。」と西谷館長。

3月になると、仏間に大正と昭和のおひなさまを飾り桃の節句を祝っています。雪がとけて観光シーズンになると大石武学流の庭園も見学できます。

こみせ美術館
建物及び景観 | 館長・西谷せつ | 西谷家住宅 |
黒石市中町34